NIE実践報告

1．タイトル：☆東商デパート速報新聞作り

2．学校名

岡山県立岡山東商業高等学校

3．実践者名（代表者名）

光田和枝　岡　育子　三村武志

4．学年

第1、2、3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　出版委員会・新聞部　55人

6．単元（本時の学習課題）名

東商デパートの速報新聞を発行しよう

7．目標（狙い）

新聞作りを通して「東商デパート」という販売実習を客観的に捉え直すとともに、来場者へのインタビューなどを行い、取材や記事の作成を通じて聞く力、表現力、構成力を養う。

8．評価の視点

・新聞記事の書き方が理解できたか。
・限られた字数で必要な情報をうまく表現できているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間として通年1単位のうち　(1)新聞記者養成講座　1時間
(2)東商デパート速報新聞発行　3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)NIE新聞記者養成講座(1時間)
山陽新聞社の記者を招き、新聞作成のコツを学ぶ講演会を開催し、記事の書き方、インタビューの取り方について学習した。
(2)東商デパート速報新聞発行(3時間)
3つの班に分かれて活動した。新聞作成班は事前に取材を行い、あらかじめある程度文案を練っておき、当日来場者や生徒にインタビューして記事を作成した。写真班は会場内を撮影して回り、展示班は場内に設けたNIEの活動ブースにおいて、NIEとは何かを来場者に知らせるための掲示物を作成した。
デパート当日は、岡山ドーム内にパソコンを設置し、取材が終わり次第記事を仕上げた。そのデータを山陽新聞社の多目的活動車「さん太号」に送り、その場で印刷し、来場者に配布した。
(注)東商デパートは、仕入れから販売までを生徒自身の手で行う販売実習である。ここ数年、岡山ドームを会場に実施している。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分たちが取材して作り上げた記事や写真が、すぐさま印刷されて新聞になったことに、驚くとともに満足感を覚えていた。印刷でき次第配り始めると、もらおうとして保護者が集まってくるなどし、配る生徒も嬉しそうだった。

12．成果と課題

生徒たちは積極的に活動したが、新聞社との事前の打ち合わせの段階から参加させれば、もっと主体性が高まり、おもしろいものができたのではないかと思う。またこのような機会があれば、生徒自身が発行の目的やねらいを考えることで、一本筋の通ったものを作らせたいと思う。